

平成28年度援護関係予算概算要求の主要事項

	【27年度予算】	【28年度概算要求】
	30,335百万円	→ 29,569百万円
	※社会・援護局（援護）計上分	19,800百万円
	※社会・援護局（社会）計上分	9,768百万円
1 援護年金	<u>14,576百万円</u>	<u>→ 13,037百万円</u>
	(受給人員 8,351人 → 6,924人)	
2 戦傷病者等の妻に対する特別給付金		
支給事務経費（支給対象件数 約2千件）		<u>17百万円</u>
3 遺骨収集帰還事業の強化	<u>1,649百万円</u>	<u>→ 2,249百万円</u>
(1) 硫黄島遺骨収集帰還事業	1,060百万円	→ 1,360百万円
(2) 南方・旧ソ連地域遺骨収集帰還事業	588百万円	→ 889百万円
ア 情報収集	342百万円	→ 471百万円
イ 遺骨収集帰還	247百万円	→ 418百万円
4 戦没者慰霊事業等	<u>798百万円</u>	<u>→ 841百万円</u>
(1) 慰霊巡拝等	279百万円	→ 391百万円
ア 慰霊巡拝	105百万円	→ 106百万円
イ 慰霊碑の補修等	98百万円	→ 87百万円
ウ 遺骨・遺留品伝達	16百万円	→ 21百万円
エ 戦没者遺骨に係るDNA鑑定	60百万円	→ 177百万円

裏面に続く

(2) 戦没者遺児による慰霊友好親善事業等	3 6 9 百万円	→	2 9 9 百万円
ア 慰霊友好親善事業	3 5 1 百万円	→	2 7 0 百万円
イ 海外・国内民間慰霊碑の管理	1 7 百万円	→	3 0 百万円

(3) 全国戦没者追悼式挙行経費	1 5 0 百万円	→	1 5 0 百万円
------------------	-----------	---	-----------

5 昭和館・しょうけい館事業 6 7 8 百万円 → 6 8 7 百万円

(1) 昭和館	4 9 7 百万円	→	4 6 9 百万円
(2) しょうけい館	1 8 1 百万円	→	2 1 8 百万円

6 戦争の経験の次世代への継承 2 1 百万円 → 3 5 百万円

※昭和館、しょうけい館、中国帰国者支援・交流センター等で実施

※うち、昭和館、しょうけい館事業分は5の額に含まれる。

(1) 戦傷病者等の証言映像の収録	2 1 百万円	→	2 5 百万円
(2) 若年世代の語り部の育成等	0 百万円	→	1 0 百万円

7 中国残留邦人等の援護等 1 1, 2 7 9 百万円 → 1 1, 3 3 7 百万円

(1) 中国残留邦人等に対する支援等	1 1, 0 5 8 百万円	→	1 1, 0 9 8 百万円
ア 支援給付の実施等	1 0, 8 7 2 百万円	→	1 0, 9 0 0 百万円
イ 配偶者支援金の支給	1 8 7 百万円	→	1 9 9 百万円

※上記のほか、職業安定局において生活支援と連動した職業相談に係る経費22百万円を計上

(2) 戦没者等援護関係資料の移管・整備	1 3 5 百万円	→	7 6 百万円
(3) 抑留者関係資料の取得及び特定作業関係	8 6 百万円	→	1 6 2 百万円

※ 百万円単位で四捨五入しているため、各欄の増減が一致しない場合がある。